

討議概要	
議事（１） 大井工業団地線の運賃について	
議事（２） 地域公共交通網形成計画の策定について	
議事（３） 亀岡市地域公共交通会議の書面開催について	
議事（１） 大井工業団地線の運賃について	
委 員	利用者はどういう方か。
京 阪 京 都 交 通	ほぼすべてが大井工業団地への通勤の方。朝夕のみのルート。
会 長	ＰＲはどのように行っていたか。
京 阪 京 都 交 通	各事業所、商工会議所、並河駅でのチラシ配布を行った。
会 長	目標の実現可能性はどうか。
京 阪 京 都 交 通	５月に本格稼働する事業所もあり、これから伸びる可能性はあると考える。
委 員	亀岡市からの補助はないのか。
京 阪 京 都 交 通	ない。
議事（２） 地域公共交通網形成計画の策定について	
委 員	多様な交通モードとは何を指すのか。
事 務 局	まちづくりと連携し面的なネットワークを再構築することを目的とした計画である。
委 員	スクールバスの一般客との混乗等、公共交通と絡めていけばもう少し充実した交通網が作れるのではないかと思う。
事 務 局	今までの概念にとらわれることなく、利便性向上、経費の削減の観点を大切にしながら考えていきたい。
委 員	ふるさとバスはありがたく思っているが、スーパーでも停まったりできないか。また、バス停でなく手を挙げれば停まるような仕組みも考えられないか。そして自主運営のする場合はどのような手続きになるのか。
事 務 局	スーパーへの運行については、利用者数を見て検討していきたい。手を挙げて停まる件については、サポートプランにもあるがフリー乗降という手法の提案が国からもある。無償運送は基本的に会議にかける必要はないが、有償運行はこの会議にかけていただくことになる。
委 員	保津でアンケートを取ったら、バス停までが不便とのことだった。今は地元で無償で送迎している。
事 務 局	保津は駅まで近い。高齢者に限った話になるので福祉施策として議論していきたい。
委 員	いままで貨客混載を提案してきたが、生協もあるが先々のことも考えて検討していただきたい。
事 務 局	今後も検討していきたい。
会 長	計画スケジュールのアンケート調査だけでなく、地域での聞き取りを是非していただきたい。

事 務 局	課題の抽出はできるだけ多くしていきたい。検討する。
議事(3) 亀岡市地域公共交通会議の書面開催について	
委 員	運行ルートの変更を伴わない停留所の移設とはどういうものか。
事 務 局	今まで更地にバス停があったが建物の建設等により移設する必要が出てきた場合である。

以 上